

香港、マカオ

広島市立大学大学院 古川千夏

香港歴史博物館、マカオ 世界遺産、Asia Contemporary Art Show、茶具文物館、羅桂祥茶藝館、PMQ、K11、賽馬會創意藝術中心(JCCAC)、ギャラリーなど

香港はどこに行っても人が多く、夜遅くまで活気がありました。

狭い範囲に集中して建物や観光スポットがあるので、海外が初めてだった私でも行動しやすかったです。



香港歴史博物館

4億年前の香港の自然生態から民間風俗、香港返還の歴史など、展示品のほかにも映像資料、マルチメディアを通して多くの展示がありました。

広い博物館で、展示も凝っており見ごたえたっぷりでした。香港の伝統的な街並み、お祭りや舞台の様子などは一番印象に残る、迫力のある展示空間でした。

展示とはあまり関係ないですが、パンダの大きな刺繍絵画に驚きました。



マカオ 世界遺産めぐり

マカオは世界遺産に登録されているスポットが30もあります。香港からフェリーで1、2時間ほどなので日帰りで行くことができました。

カジノの街なので、フェリー乗り場の近くにはド派手な建物もたくさんありました。



聖ドミニコ教会

中国初の教会だそうです。パステルイエローの美しいファサードでした。内部の博物館にはキリスト教関連の展示がされていました。



盧家屋敷



セナド広場

聖ポール天主堂跡

マカオの象徴として有名です。以前は礼拝堂でしたが火災で焼失し、現在は正面の壁と階段のみの形になっています。

ファサードだけでも非常に大きく、存在感に圧倒されました。レリーフの模様も見ていて面白かったです。



イエズス会記念広場

聖ポール天主堂跡の階段を降りると、イエズス会記念広場にブロンズ像がありました。



カテドラル広場



カテドラル

外観は灰色で目立たなかったですが、中には美しいステンドグラスがあります。

Asia Contemporary Art Show

コンラッドホテル香港の 40-43 階、20 か国以上、100 近くのギャラリーの現代アートが展示されていました。

私はアートフェアも見たことがなかったのですが、世界の活躍されている作家さんの作品を一度に見ることができ、とても刺激を受けました。

展示空間は浴室での展示が印象的なギャラリーが多かったように思いました。

ほかにはベッドの上に展示台を置き、その上に繊細な工芸作品を展示していたり、ベッド自体を展示台にしていたり…ホテル内の限られた空間で、各ギャラリーが様々な工夫を凝らしてあり、作品だけでなく、勉強になる展示の仕方がたくさんありました。



香港公園のなかにある、茶具文物館、羅桂祥茶藝館に行きました。

香港公園内にはほかにもオリンピック・スクエア、バード園、カフェ、噴水、温室、人工湖、小さな洞窟と滝もあり、盛りだくさんの公園でした。



茶具文物館

世界的にも珍しい中国茶をテーマとする茶具や茶器がコレクションされている博物館で、工芸を学んでいる私は、非常に興味深い場所でした。香港に現存する最も古い西洋式建築物のひとつとされているようで、外観もとてもきれいでした。

1階は常設展で、唐や清の時代などの歴史的価値の高い茶具や茶の入れ方の歴史、2階では茶具の公募展の作品が展示してありました。伝統的な茶具とは全く違う、ポップな色やデザインのものが受賞しており、日本でもそうですが、時代に合わせて面白いとされるものの変化を感じました。



羅桂祥茶藝館

陶磁器と印章が展示されていました。私は書道もしているのですが、金属だけでなく、石や水晶の印も興味深く鑑賞できました。



PMQ

警察宿舎をリノベーションした建物で、最新トレンドの香港デザイナーやクリエイターたちの情報発信スポットです。個性的な雑貨やアクセサリなどの気軽に見える芸術品が数多くあり、絵画教室や個展をしている部屋もありました。二つの棟の間ではワークショップがいくつも開催されていました。

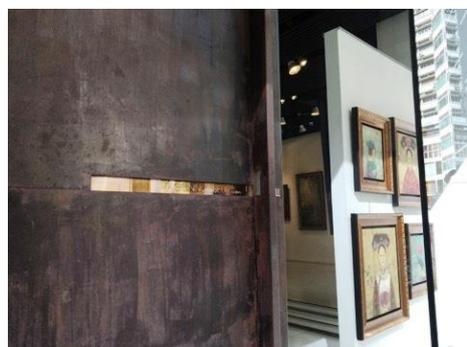


近くにギャラリーもありました。



Whitestone Gallery

草間彌生さんの版画展をしていました。



CONNOISSEUR Art Gallery



K11

「アート、自然、人の一体化」がコンセプトの「ショッピングモール美術館」という独自のスタンスのビルです。

ショッピングモールのいたるところにアート作品が点在しています。各作品に QR コードがあり、読み取ると作品写真、作家など詳細をスマホで見ることができました。



アートな椅子もたくさんありました。
これはぐるぐる回る、遊びながら座れる椅子です。

賽馬會創意藝術中心（JCCAC）

発展途上の若いアーティストや既に成功を収めているデザイナーなど、香港アートの未来を担う幅広い人々をサポートする施設です。この建物も工業ビルだったものをリノベーションされたもので、現在は 100 を超えるアーティストがスタジオやギャラリーを利用し、近くには宿泊施設もありました。



私が行ったとき、1階の広いギャラリーでは私よりも若そうな男性が油彩の個展を、地下ギャラリーでは陶芸のグループ展をしていました。



美術旅行をして、香港はアートと人と街が溶け込んでいるように感じました。紹介した施設やきれいな建物やオブジェがあるという以外にも、街を歩いていると写真に収めたいような景色が多くありました。

日本以外でのアートに触れることができ非常にいい刺激になり、他の地域にも足を運んでみたいくなりました。そうして感じたものを自分の表現や作品にもどんどん吸収していけたらと思います。